



2024年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イムラ

コード番号 3955

URL <https://www.imura.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井村 優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長
兼 経理部長

(氏名) 和田 寿一 (TEL) 06(6586)6121

四半期報告書提出予定日 2023年9月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第2四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	11,021	△2.1	992	△0.5	1,053	△1.8	722	△4.8
2023年1月期第2四半期	11,259	5.1	997	6.2	1,072	4.9	759	5.3

(注) 包括利益 2024年1月期第2四半期 711百万円 (2.9%) 2023年1月期第2四半期 691百万円 (△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	72.18	71.59
2023年1月期第2四半期	75.83	75.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第2四半期	20,808	15,768	75.5
2023年1月期	19,671	15,335	77.7

(参考) 自己資本 2024年1月期第2四半期 15,719百万円 2023年1月期 15,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	ー	0.00	ー	30.00	30.00
2024年1月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2024年1月期（予想）	ー	ー	ー	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	5.8	1,950	37.1	2,000	28.1	1,450	42.7	144.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期2Q	10,729,370株	2023年1月期	10,729,370株
② 期末自己株式数	2024年1月期2Q	697,753株	2023年1月期	726,853株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期2Q	10,013,774株	2023年1月期2Q	10,013,804株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、「潤創（じゅんそう）～社会と人生に潤いを創造する～」を新たな経営理念である「IMURA PHILOSOPHY STRUCTURE」の起点に掲げ、「変革とイノベーション（革新）により新たな成長軌道を実現し、企業価値の更なる向上を図ることにより全てのステークホルダーに最高の付加価値を提供する。」を基本方針とする3か年の中期経営計画「IMURA VISION 2030 Stage I」を2021年度よりスタートさせ、新生イムラの基盤づくりを、全社を挙げて進めております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の正常化やインバウンド需要により、総じて回復基調で推移いたしました。燃料費や原材料価格の高騰が、今後の企業活動や家計に及ぼす影響についても懸念されております。

一方で、当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便の取扱数量は減少傾向が続いており、ダイレクトメール市場においては、「折込・DM郵便料（経済産業省公表）」の低下もあって、当社グループを取り巻く環境は不透明な状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、販売数量の低下に加え、コロナ禍収束による官需の減少もあり、110億21百万円（前年同期比2.1%減）となりました。損益面につきましては、減収や材料価格高騰の影響を固定費の抑制で吸収したことから、営業利益は9億92百万円（前年同期比0.5%減）、経常利益は10億53百万円（前年同期比1.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益を計上する一方で、今期は子会社における固定資産除却損等の計上もあり、7億22百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（パッケージソリューション事業）

ワクチン接種券や統一地方選等の官需を中心としたスポット案件が下支えとなるものの、社会のデジタル化の進展を背景に、事務用封筒の減少やダイレクトメール用封筒の需要が低迷したことから、売上高は81億3百万円（前年同期比1.3%減）となりました。損益面では、原材料価格が上昇するものの、内製化推進による外注加工賃の抑制や固定費の減少により、営業利益は7億37百万円（前年同期比18.7%増）となりました。

（メーリングサービス事業）

前期に受託した各種自治体向け大口案件の剥落の影響でサービス加工の売上が減少したことを主因に、売上高は20億67百万円（前年同期比4.4%減）となりました。損益面では、株主優待等のサービス受託に伴う商品仕入の増加で、売上総利益率が低下したこともあり、営業利益は2億14百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

（その他）

医療機関向け印刷物を手掛ける子会社の売上が回復するものの、封入機の製造販売を手掛ける子会社及び情報システム事業が減収となり、売上高は8億50百万円（前年同期比3.9%減）となりました。損益面では、医療機関向け印刷物を手掛ける子会社の生産機能のグループ内移管等、グループを挙げての構造改革への取組が奏功し、営業利益は35百万円（前年同期比308.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（総資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億37百万円増加して208億8百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産、原材料及び貯蔵品が増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ7億5百万円増加して50億40百万円となりました。これは主に、電子記録債務、未払法人税等が増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円増加して157億68百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.2ポイント低下して75.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ53百万円減少して25億83百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の収入は9億87百万円（前年同期1億56百万円の支出）となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益10億87百万円、仕入債務の増加額5億41百万円、資金の減少要因として原材料の値上げに備えた棚卸資産の増加額4億20百万円、売上債権の増加額2億73百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の支出は7億33百万円（前年同期2億15百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億92百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の支出は3億6百万円（前年同期6億86百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額2億99百万円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,764	2,715
受取手形、売掛金及び契約資産	3,249	3,685
電子記録債権	1,227	1,103
商品及び製品	454	493
仕掛品	218	231
原材料及び貯蔵品	587	957
その他	145	197
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	8,637	9,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,374	1,431
機械装置及び運搬具（純額）	1,651	1,785
土地	4,572	4,621
その他（純額）	871	1,068
有形固定資産合計	8,469	8,906
無形固定資産	135	133
投資その他の資産		
投資有価証券	1,107	1,112
退職給付に係る資産	662	646
その他	667	637
貸倒引当金	△8	△4
投資その他の資産合計	2,429	2,392
固定資産合計	11,033	11,432
資産合計	19,671	20,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	944	945
電子記録債務	939	1,509
1年内返済予定の長期借入金	10	10
未払法人税等	247	364
賞与引当金	555	515
その他	1,129	1,187
流動負債合計	3,826	4,532
固定負債		
長期借入金	68	63
退職給付に係る負債	133	139
資産除去債務	124	125
その他	182	179
固定負債合計	508	508
負債合計	4,335	5,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,383	1,389
利益剰余金	12,309	12,734
自己株式	△450	△432
株主資本合計	14,441	14,889
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339	374
退職給付に係る調整累計額	503	455
その他の包括利益累計額合計	842	830
新株予約権	37	33
非支配株主持分	14	15
純資産合計	15,335	15,768
負債純資産合計	19,671	20,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	11,259	11,021
売上原価	8,100	7,856
売上総利益	3,158	3,165
販売費及び一般管理費	2,161	2,173
営業利益	997	992
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	30
受取賃貸料	11	6
売電収入	5	4
その他	44	27
営業外収益合計	83	68
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	3	2
売電費用	3	2
その他	2	1
営業外費用合計	8	7
経常利益	1,072	1,053
特別利益		
固定資産売却益	64	1
投資有価証券売却益	-	81
特別利益合計	64	82
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	7	45
投資有価証券評価損	1	3
特別損失合計	11	48
税金等調整前四半期純利益	1,124	1,087
法人税、住民税及び事業税	325	320
法人税等調整額	39	43
法人税等合計	364	363
四半期純利益	759	723
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	759	722

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	759	723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	35
退職給付に係る調整額	△71	△47
その他の包括利益合計	△68	△12
四半期包括利益	691	711
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	690	710
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,124	1,087
減価償却費	302	304
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△69	△40
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14	4
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	17	15
受取利息及び受取配当金	△22	△30
支払利息	0	0
固定資産売却損益 (△は益)	△61	△1
固定資産除却損	7	45
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△81
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	3
売上債権の増減額 (△は増加)	△949	△273
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△295	△420
仕入債務の増減額 (△は減少)	236	541
その他	△226	16
小計	51	1,165
利息及び配当金の受取額	22	30
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△229	△208
営業活動によるキャッシュ・フロー	△156	987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△209	△792
有形固定資産の売却による収入	81	2
無形固定資産の取得による支出	△26	△5
有形固定資産の除却による支出	-	△36
投資有価証券の売却による収入	-	101
定期預金の増減額 (△は増加)	2	△4
その他	△63	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215	△733
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△349	△5
自己株式の取得による支出	△35	-
配当金の支払額	△300	△299
その他	△1	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△686	△306
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,058	△53
現金及び現金同等物の期首残高	3,861	2,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,802	2,583

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年2月1日 至 2022年7月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	8,211	2,163	10,375	640	11,015	—	11,015
一定期間にわたり移 転される財又はサー ビス	—	—	—	227	227	—	227
顧客との契約から生 じる収益	8,211	2,163	10,375	868	11,243	—	11,243
その他の収益	—	—	—	15	15	—	15
外部顧客への売上高	8,211	2,163	10,375	884	11,259	—	11,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	81	1	83	9	92	△92	—
計	8,293	2,165	10,458	893	11,352	△92	11,259
セグメント利益	621	363	985	8	993	3	997

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	8,103	2,067	10,171	643	10,815	—	10,815
一定期間にわたり移 転される財又はサー ビス	—	—	—	206	206	—	206
顧客との契約から生 じる収益	8,103	2,067	10,171	850	11,021	—	11,021
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,103	2,067	10,171	850	11,021	—	11,021
セグメント間の内部 売上高又は振替高	140	22	163	10	173	△173	—
計	8,244	2,090	10,334	860	11,195	△173	11,021
セグメント利益	737	214	951	35	986	5	992

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発

医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売

機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。